注３ **大学番号：私274**

届出

［平成２６年度設置］

計画の区分：学部設置

注１

西九州大学　健康栄養学部　健康栄養学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永原学園
平成２９年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局長	姉川（アネガワ）　博幸（ヒロユキ）
総務課長	杢尾（モクオ）　隆弘（タカヒロ）
電話番号	０９５２－５２－４１９１
（夜間）	０９５２－５２－４１９１
ＦＡＸ	０９５２－５２－４１９４
ｅ－mail	syomu@nisikyu-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成２９年３月３１日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康栄養学部

＜健康栄養学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者
　　学校法人　永原学園

（２）大　学　名
　　西九州大学

（３）大学の位置
　〒８４２－８５８５
　　佐賀県神埼市神埼町尾崎４４９０－９

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（フクモト　ユウジ） 福元　裕二 （平成20年4月）		
学　　長	（ムカイ　ツネヒロ） 向井　常博 （平成24年4月）	（フクモト　ユウジ） 福元　裕二 （平成29年4月） ~~（ムカイ　ツネヒロ）~~ ~~向井　常博~~ ~~（平成24年4月）~~	理由：学長交代 変更年月日：平成29年4月1日 （29）
学 部 長	（ヤナギタ　テルヨシ） 柳田　晃良 （平成26年4月）	（イシマツ　マサル） 石松　秀 （平成26年4月） ~~（ヤナギタ　テルヨシ）~~ ~~柳田　晃良~~ ~~（平成26年4月）~~	理由：学部長交代 変更年月日：平成28年4月1日 （28）
学科長等	（クノ　カズエ） 久野　一恵 （平成26年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
　　平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２６年度開設の４年制の学科の場合（平成２９年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康栄養学部 健康栄養学科 学士（健康栄養学）	家政学関係	年 4	人 120	年次 人 －	人 480	・入学定員 平成25年度迄:130名 平成26年度～:120名

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	120人 （ － ） [－]	－ 人	120人 （ － ） [－]	－ 人	120人 （ － ） [－]	－ 人	120人 （ － ） [－]	－ 人	0.93 倍	
志願者数	227 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	190 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	193 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	155 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]		
受験者数	225 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	189 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	193 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	154 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]		
合格者数	216 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	189 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	192 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	154 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]		
Ｂ　入学者数	122 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	105 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	113 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	110 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.01		0.87		0.94		0.91			

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	122 [－] (－)	－ [－] (－)	105 [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (－)	－ [－] (－)	110 [－]	－ [－]	
２年次			118 [－] (－)	－ [－] (－)	103 [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					113 [－] (－)	－ [－] (－)	105 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							109 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	122 [－] (－)		223 [－] (－)		329 [－] (－)		437 [－] (－)		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
平成26年度入学者	122 人	17 人	平成26年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（2人）、家庭の事情（1人）、就学意欲の低下（1人）	13.93 %
			平成27年度	9 人	0 人	他学科への入学（1人）、他の教育機関への入学・転学（2人）、就学意欲の低下（3人）、就職（1人）、除籍（1人）その他（1人）	
			平成28年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）、家庭の事情（1人）、就学意欲の低下（1人）、就職（1人）	
			平成29年度	人	人		
平成27年度入学者	105 人	6 人	平成27年度	2 人	0 人	就学意欲の低下（1人）、除籍（1人）	5.71 %
			平成28年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（2人）、就職（1人）、除籍（1人）	
			平成29年度	人	人		
平成28年度入学者	113 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	家庭の事情（1人）	0.88 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度入学者	110 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
合　計	450 人	24 人					5.33 %

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜健康栄養学部　健康栄養学科＞

（１） 担当教員表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
共通教育科目	基礎演習あすなろう	1通	1			4 ~~5~~	3 ~~5~~ ~~3~~	~~1~~ ~~2~~ ~~1~~	1			※1　斎木まど香准教授が産前産後及び育児休暇のため（29） ※2　山﨑美津代准教授が平成28年5月31日付け退職のため（29） ※1　進藤教授が平成28年3月31日付け退職のため、柳田晃良教授及び山﨑美津代准教授のオムニバスで開講（28） ※2　斎木まど香講師が平成28年4月1日付けで准教授に就任されたため（28） 昨年度に比べ入学者数が減少したため2クラスを削減（27） 教育効果を考慮し、開講クラスを1クラス追加（26）
	あすなろう体験Ⅰ（基礎）	1通	1			4 ~~5~~	3 ~~5~~ ~~3~~	~~1~~ ~~2~~ ~~1~~	1			上記※1、※2の理由により変更（29） 上記※1及び※2の理由により変更（28） 昨年度に比べ入学者数が減少したため2クラスを削減（27） 教育効果を考慮し、開講クラスを1クラス追加（26）
	あすなろう体験Ⅱ（実践）	2通		1		1	~~1~~	~~1~~	1 ~~2~~			上記※1の理由により変更（29） 上記※2の理由により変更（28） 高元宗一郎助教がスポーツ健康福祉学科へ異動となったため（27）
	あすなろう体験Ⅲ（応用実践）	3通		1		1	~~1~~	~~1~~	1 ~~2~~			上記※1の理由により変更（29） 上記※2の理由により変更（28） 高元宗一郎助教がスポーツ健康福祉学科へ異動となったため（27）
	心理学入門	1･2後		2							兼1	
	現代社会と倫理	1･2前		2							兼1	
	人間論と現代思想	1･2後		2							兼1	
	文学と言語	1･2前		2							兼1	
	生涯学習論	1･2前		2							兼1	
	人間の歴史	1･2後		2							兼1	
	脳と認知科学	1･2後		2							兼3	
	異文化理解	1･2前		2							兼1	
	留学準備演習	1･2･3･4前		1		1		1			兼3 ~~兼4~~	兼任教員1名が辞任したため、その他の教員が担当(28) 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
	海外研修	1･2･3･4通		2 ~~1~~				1			~~兼1~~	兼任教員が辞任したため、専任講師が担当(28) 教育内容の拡充のため、単位数（時間数）変更（27）
	Introduction to Japan and Japanese Culture	1･2前		2		1	1	1			兼3 ~~兼1~~ ~~兼2~~ ~~兼3~~	授業内容充実のため、担当者追加（29） 担当者変更及び減(28) 授業運営上の理由により担当者減(27) 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通教育科目	法学	1･2前		2							兼1	
	日本国憲法	1･2後		2							兼1	
	社会学入門	1･2前		2							兼1	
	くらしと経済	1･2前		2							兼1	
	ジェンダー論	1･2後		2							兼1	
	少子高齢化社会と人間	1･2後		2							兼1	
	人類学	1･2後		2							兼1	
	グローバル・コミュニティ論（アジア）	1･2後		2							兼2 ~~兼1~~	担当教員の追加（29） 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（28）
	生命のしくみ	1･2前		2		~~1~~					兼1	高橋忠夫教授が平成26年3月31日付け退職し、兼任講師として担当。（26）
	生物と環境	1･2後		2		~~1~~					兼1	
	化学入門	1･2前		2		1					~~兼1~~	田端正明兼任講師辞退のため平成27年度より安田みどり教授が担当（27）
	統計学の基礎	1･2前		2							兼1	
	物理学入門	1･2前		2							兼1	
	地球環境科学	1･2後		2							兼1	
	総合英語Ⅰ	1後	1			~~1~~		~~1~~			兼3 ~~兼2~~	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（27） ※1馬塲佐和子教授が平成26年3月31日に本学を退職をされたため、園部ニコル専任講師を補充。（26）
	総合英語Ⅱ	2後	1			~~1~~					兼3 ~~兼2~~	馬場佐和子教授の退職に伴い兼任教員3名で担当（26）
	英語表現Ⅰ	1前	1			~~1~~					兼3	
	英語表現Ⅱ	2前	1			~~1~~		~~1~~			兼3 ~~兼2~~	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（27） 上記※1の理由により変更（26）
	英語会話Ⅰ	1前		1				~~1~~			兼2 ~~兼1~~ ~~兼2~~	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（28） 園部ニコル講師が平成26年4月1日付専任講師に就任されたため（26）
	英語会話Ⅱ	1後		1				~~1~~			兼2 ~~兼1~~ ~~兼2~~	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（28） 園部ニコル講師が平成26年4月1日付専任講師に就任されたため（26）
	上級英語Ⅰ	3後		1							兼1	
	上級英語Ⅱ	4前		1		~~1~~					兼1	馬場佐和子教授の退職に伴い兼担教員が担当。（26）
	グローバル・コミュニケーション（英語）	1･2前		2				1			兼1	授業内容充実のため担当者追加（29） 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（28）
	ドイツ語（初級）	1前		1							兼1	
	ドイツ語（中級）	1後		1							兼1	
	フランス語（初級）	1前		1							兼1	
	フランス語（中級）	1後		1							兼1	
	中国語（初級）	1前		1							兼1	
	中国語（中級）	1後		1							兼1	
	韓国語（初級）	1前		1							兼1	
	韓国語（中級）	1後		1							兼1	
	健康・スポーツ科学	1後	2								兼1	
	フィットネス・スポーツ	1前	1								兼2	
	ウェルネス・スポーツ	2通	1								兼2	
	情報処理基礎	1通	2			1						
	小計（５０科目） ~~小計（４８科目）~~ ~~小計（４６科目）~~		12	65 ~~61~~ ~~57~~	0	5 ~~4~~ ~~5~~ ~~7~~	3 ~~5~~ ~~3~~	1 ~~2~~ ~~1~~	1 ~~2~~		兼38 ~~兼34~~ ~~兼35~~ ~~兼31~~	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
専門教育科目	健康栄養学概論	1前	2			1 ~~2~~	2 ~~1~~ ~~2~~ ~~3~~	3 ~~5~~ ~~4~~ ~~2~~				堀田徳子准教授が休暇から復帰し、緒方智宏講師と交代(28) ※3　梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職したため、他の教員で担当（28） 堀田徳子准教授が産前産後の休暇のため緒方智宏講師が担当（27） ※2澤野香代子教授が平成26年3月31日付け退職したため船元智子専任講師を補充（26） ※3安武健一郎准教授が平成26年3月31日付け退職したため熊川景子専任講師を補充（26）
	健康栄養学セミナーⅠ	2通 ~~2前~~ ~~2通~~	1			1	1	1 ~~2~~				教育効果を再考し、開講期を変更。また、オムニバス開講から専任教員3名による3クラス開講に変更（29） 教育効果を考慮し、開講期を変更（28） 上記※3の理由により変更（28）
	健康栄養学セミナーⅡ	3通	1			~~1~~ ~~2~~	1 ~~2~~	2				教育効果を考慮し、オムニバス開講から専任教員3名による3クラス開講に変更（29） 上記※2及び上記※3の理由により変更（26）
	公衆衛生学Ⅰ	1後	2			1						
	公衆衛生学Ⅱ	2前		2		1						
	公衆衛生学Ⅲ	2後		2		1						
	公衆衛生学実習	3前		1		1				1	兼1	兼任教員を追加（29）
	解剖生理学	1前	2			1						
	解剖生理学実習	2後		1		1				1	兼1	兼任教員を追加（29）
	生理学のための基礎薬理学	3後		2		1						
	生化学	1後	2				1					
	病態生化学	2前		2		1						
	生化学実験	2前		1			1			1		教育効果を考慮し、助手1名を配置(28)
	疾病論Ⅰ	2前	2			1						
	疾病論Ⅱ	2後		2		1						
	臨床基礎医学	3前 ~~2前~~	2			1				~~1~~		助手の配置が不要だったため(28) 教育効果を考慮し、開講期を変更（27）
	基礎臨床実習	3前 ~~3後~~ ~~2後~~		1		1				1		教育効果を考慮し、開講期を変更及び助手の配置(28) 教育効果を考慮し、開講期を変更（27）
	食品学	1後	2			1						
	食品学実験	2前		1		1				1	~~兼1~~	専任教員が全クラスを担当（29） 上記※1の理由により、他教員が担当。進藤直文教授は退任後も兼任講師として一部クラスを担当(28)
	食品加工学	2前		2		1						
	食品衛生学	2前		2			~~1~~	~~1~~			兼1	上記※1の理由により、兼任教員が担当（29） 上記※2の理由により変更（28）
	調理学	1前	2				1					
	調理実習Ⅰ	1前		1		1			~~1~~	1		助教に代わり助手を配置(28)
	調理実習Ⅱ	1後		1		1	1		~~1~~	1		助教に代わり助手を配置(28)
	調理実習Ⅲ	2前		1			~~1~~	1	~~1~~	1 ~~1~~		熊川景子講師が全クラスを担当（29） 助教に代わり助手を配置（29） 教育効果を考慮し、副島順子准教授及び熊川景子講師のオムニバスで開講(28) 助手に代わり助教を配置(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	食事設計実習	2前		1				1		1	兼1	専任教員1名と兼任教員1名のオムニバスで開講（29）
	調理教育学実習	3後 ~~3前~~		1				1	~~1~~	1		教育効果を考慮し、開講期を変更(28) 助教に代わり助手を配置（28）
	基礎栄養学	1前	2				1					
	基礎栄養学実験	1後		1			1			1		
	ライフステージ別栄養学	2前	2				1					
	食事摂取基準概論	2前		2			1					
	栄養マネジメント概論	2前		2				1				
	応用栄養学実習	2後		1			1	1	1	~~1~~		助手に代わり助教を配置(28)
	栄養教育概論	2後	2				1	~~1~~				堀田徳子准教授が担当（29） 上記※3の理由により変更。補充教員を募集中（28）
	栄養教育論Ⅰ	3前	2				1					
	栄養教育論Ⅱ	3後		2			1					
	栄養教育論実習Ⅰ	3前		1		1	~~1~~	~~1~~		1	兼~~1~~	兼任教員の沖田千代氏が平成28年10月1日付で特任教授に就任（29） 梅木講師が全クラス担当予定だったが、上記※3の理由により、兼任教員が担当（28）
	栄養教育論実習Ⅱ	3後		1		1	~~1~~	~~1~~		1		沖田千代特任教授が担当（29） 梅木講師が全クラス担当予定だったが、上記※3の理由により、補充教員を募集中（28）
	臨床栄養学概論	3前	2			~~1~~		1				担当教員の変更（29）
	臨床栄養学	3後		2		1						
	臨床栄養学実習	3後		1		1			~~1~~	1		助教に代わり助手を配置(28)
	栄養療法論	3前	2					1				
	栄養療法論実習	3後		1			~~1~~	1		1		上記※3の理由により変更（26）
	臨床栄養管理学	4前		2		1	~~1~~	~~1~~				担当教員の変更（29） 上記※3の理由により変更（26）
	公衆栄養学Ⅰ	3前 ~~2後~~	2			~~1~~		1				教育効果を考慮し、開講期を変更（27） 上記※2の理由により変更（26）
	公衆栄養学Ⅱ	3後 ~~3前~~		2		~~1~~		1				
	公衆栄養学実習	4前 ~~3後~~		1		~~1~~		1		1		
	給食計画論	2前	2				~~1~~	1				※4石井妙子准教授が平成26年3月31日付け退職したため緒方智宏専任講師を補充（26）
	給食経営管理論	3後 ~~2後~~		2			~~1~~	1				
	給食経営管理実習	2後		1			~~1~~	1		1		
	栄養総合演習Ⅰ	3通 ~~3通, 4前~~		1		~~1~~	~~1~~ 2 ~~3~~	1 ~~4~~ ~~2~~	1			上記※2の理由により変更（29） 教育効果を考慮し、開講期を変更し、臨地実習Ⅰの担当教員のオムニバスで開講（28） 上記※2及び上記※4の理由により変更（26）
	栄養総合演習Ⅱ	4前		1		~~1~~	1 ~~1~~	3 ~~1~~				専任教員4名のオムニバスで開講（29） 上記※3の理由により変更（26）
	臨地実習Ⅰ(給食管理)	3前		1			~~1~~	1	1			上記※2の理由により変更（29） 教育効果を考慮し、助教1名を担当として追加(28) 上記※4の理由により変更（26）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
専門教育科目	臨地実習Ⅱ(臨床栄養)	3後		2			~~1~~	2 ~~3~~ ~~2~~				上記※3の理由により変更。補充教員を募集中（28） 上記※3の理由により変更（26）
	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)	4前		1		~~1~~	1	1				上記※2の理由により変更（26）
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養)	3後		1			~~1~~	2 ~~3~~ ~~2~~				上記※3の理由により変更。補充教員を募集中。（28） 上記※3の理由により変更（26）
	卒業研究ゼミナール	3後	1			8 ~~7~~ ~~8~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~7~~	4 ~~5~~ ~~3~~	1			上記※1、※2の理由により変更（29） 梅木陽子講師の後任を平成28年10月1日付で就任した沖田千代特任教授が担当（29） 教育効果を考慮し、助教を1名追加（29） 上記※1、※2及び※3の理由により、他教員が担当。梅木陽子講師の補充教員は募集中(28) 上記※3及び上記※4の理由により変更（26）
	卒業研究・演習	4通	4			8 ~~7~~ ~~8~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~7~~	4 ~~5~~ ~~3~~	1			上記※1、※2の理由により変更（29） 梅木陽子講師の後任を平成28年10月1日付で就任した沖田千代特任教授が担当（29） 教育効果を考慮し、助教を1名追加（29） 上記※1、※2及び※3の理由により、他教員が担当。梅木陽子講師の補充教員は募集中(28) 上記※3及び上記※4の理由により変更（26）
	小計（５８科目）		39	53	0	10 ~~8~~ ~~9~~ ~~10~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~7~~	4 ~~6~~ ~~3~~	1	5	兼4 ~~兼2~~ ~~兼0~~	
	化学	1前		2		1 ~~2~~ ~~1~~					兼1	柳田晃良教授が平成29年4月1日付で特任教授に就任し、担当を外れたため（29） 教育効果を考慮し、開講クラスを1クラス追加、内1クラスは柳田晃良教授及び田中知恵兼任准教授のオムニバスで開講（26）
	食品衛生学実験	2後		1				~~1~~		1	兼1	上記※1の理由により変更（29）
	福祉栄養学	2後		2			~~1~~				兼1	上記※2の理由により変更（29）
	福祉栄養学実習	3前		1			~~1~~		1	~~1~~	兼1	上記※2の理由により変更（29） 助手に代わり助教を配置（29）
	運動指導論	3前		2							兼1	
	健康栄養学演習Ⅰ	3後		1		4 ~~5~~ ~~6~~	3 ~~4~~ ~~3~~ ~~5~~	4 ~~6~~ ~~3~~			兼1	上記※1の理由により変更（29） 上記※1、※2及び※3の理由により変更となり、他教員で担当(28) 上記※3及び上記※4の理由により変更（26）
	健康栄養学演習Ⅱ	4前		1		5 ~~4~~ ~~5~~ ~~6~~	3 ~~4~~ ~~6~~	3 ~~4~~ ~~5~~ ~~2~~				上記※2の理由及び専任教員の担当学年変更により（29） 上記※1、※2及び※3の理由により変更となり、他教員で担当(28) 上記※3及び上記※4の理由により変更（26）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	食品機能学	2前 ~~2後~~ ~~2前~~		2		1						教育効果を再考し、開講期を前期に変更（29） 教育効果を考慮し、開講期を後期に変更（27）
	微生物学	1後		2		1						
	スポーツ栄養学	3前		2			1					
	食品の創製ゼミナール	3通		1		1	~~1~~	~~1~~	1			上記※1の理由により変更（29） 上記※2の理由により変更（28）
	ヘルスフード科学	2後 ~~未開講~~ ~~2後~~		2		1						平成28年度は担当教員入院のため未開講。平成29年度は通常開講。（29）
	地域の食産業	2前		2		1	~~1~~	~~1~~			兼6	上記※1の理由により変更（29） 教育効果を考慮し、兼任教員を追加（29） 上記※2の理由により変更（28）
	栄養教諭論	2前		2							兼1	
	学校食育指導論	2後		2							兼1	
	小計（１５科目）		0	25	0	9 ~~7~~ ~~8~~ ~~9~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~6~~	4 ~~6~~ ~~3~~	1 ~~0~~	1 ~~2~~	兼11 ~~兼3~~	
	専門教育科目計（７３科目）		39	78	0	10 ~~8~~ ~~9~~ ~~13~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~7~~	4 ~~6~~ ~~3~~	1	5	兼14 兼5 ~~兼3~~	
教育課程総計（１２３科目） ~~教育課程総計（１２１科目）~~ ~~教育課程総計（１１９科目）~~			51	143 ~~145~~ ~~139~~ ~~135~~	0	11 ~~9~~ ~~10~~ ~~13~~	4 ~~6~~ ~~5~~ ~~7~~	5 ~~7~~ ~~3~~	1 ~~2~~	5	兼52 ~~兼39~~ ~~兼37~~ ~~兼32~~	

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画 必修	設置時の計画 選択	設置時の計画 自由	設置時の計画 計（Ａ）	変更状況 必修	変更状況 選択	変更状況 自由	変更状況 計	備考
30科目	89科目	0科目	119科目	30科目 [　　]	93科目 [　4　]	0科目 [　　]	123科目 [　4　]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	臨床基礎医学	2	2	専門	必修	学生の修学レベルを考慮し、当初の予定より開講期を３年次に変更した（27）
2	基礎臨床実習	1	2	専門	選択	学生の修学レベルを考慮し、当初の予定より開講期を３年次に変更した（27）
3	公衆栄養学Ⅰ	2	2	専門	必修	学生の修学レベルを考慮し、当初の予定より開講期を３年次に変更した（27）
4	給食経営管理論	2	2	専門	選択	学生の修学レベルを考慮し、当初の予定より開講期を３年次に変更した（27）
5	ヘルスフード科学	2	2	専門	選択	担当教員が入院のため、平成28年度は未開講となった。平成29年度は開講予定。（29）

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、次年度開講予定であるため、学生の修学への支障はない。また学生への周知についてはガイダンス等において周知済みである。(27)

未開講科目は自由選択科目なので、特に支障はない。当該科目の希望者は平成29年度に履修するよう、ガイダンスで周知している。（29）

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の害

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{119} = \boxed{4.20}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	西九州大学全体
	校舎敷地	37,683㎡	0㎡	0㎡	37,683㎡	
	運動場用地	18,813㎡	0㎡	0㎡	18,813㎡	
	小計	56,496㎡	0㎡	0㎡	56,496㎡	
	その他	49,832㎡	0㎡	0㎡	49,832㎡	
	合計	106,328㎡	0㎡	0㎡	106,328㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	西九州大学全体
		25,868㎡ （ － ㎡）	0㎡ （ － ㎡）	0㎡ （ － ㎡）	25,868㎡ （ － ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	43室	106室	25室	4室 （補助職員　2人）	2室 （補助職員　1人）	西九州大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	健康栄養学部　健康栄養学科	22 ~~25~~ 室	平成28年度調査時において、利用していない研究室もカウントしていたため（29）

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	図書
	健康栄養学部 健康栄養学科	19,398〔 1,071 〕 (16,268〔916〕) ~~(15,927〔913〕)~~	201〔 28 〕 (185〔 24 〕) ~~(185〔 25 〕)~~	4〔 4 〕 (1〔 1 〕) ~~(5〔 5 〕)~~	606 (635) ~~(605)~~	4,628 4,328 ~~(4,576)~~	0 0	学術雑誌 注）の平成27年5月1日現在の数値を記載との指示により改めて記載した（27） 平成28年度は、5月1日現在の数値を記載している。（28） 平成29年度は、4月28日現在の数値を記載している。（29）
	計	19,398〔 1,071 〕 (16,268〔916〕) ~~(15,927〔913〕)~~	201〔 28 〕 (185〔 24 〕) ~~(185〔 25 〕)~~	4〔 4 〕 (1〔 1 〕) ~~(5〔 5 〕)~~	606 (635) ~~(605)~~	4,628 4,328 ~~(4,576)~~	0 (0)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	1,568㎡	230席 ~~262席~~	155,000冊

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	2,680㎡	第2体育館587㎡、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ242㎡、ﾃﾆｽｺｰﾄ2面、弓道場89㎡

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	280千円	280千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円
	共同研究費等	200千円	200千円	設備購入費	37,432千円	4,000千円	4,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,210千円	1,020千円	1,030千円	1,040千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	西九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
（１）　担当教員表	年	人	年次 人	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫ 大学院 生活支援科学研究科									
健康栄養学専攻	2	2	―	4	修士 （健康栄養学）	0.00	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
地域生活支援学専攻 （博士前期課程）	2	5	―	10	修士 （生活支援学）	0.90	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
臨床心理学専攻	2	4	―	8	修士 （臨床心理学）	1.25	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻	2	3	―	6	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.99	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学専攻	2	4	―	8	修士 （子ども学）	0.62	平成27年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
地域生活支援学専攻 （博士後期課程）	3	3	―	9	博士 （生活支援学）	1.22	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※地域生活支援学専攻 （博士後期課程） 平成27年度新設のため 収容定員6名
健康栄養学部									
健康栄養学科	4	120	―	480	学士 （健康栄養学）	0.93	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※健康栄養学科 ・入学定員 平成25年度迄：130名 平成26年度～：120名
健康福祉学部									
社会福祉学科	4	80	3年次 10人	340	学士 （社会福祉学）	0.62	昭和49年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※社会福祉学科 ・入学定員 平成25年度迄：120名 平成26年度～：80名 ・３年次編入学定員 平成27年度迄：20名 平成28年度～：10名
スポーツ健康福祉学科	4	50	―	200	学士 （ｽﾎﾟｰﾂ健康福祉学）	1.01	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※スポーツ健康福祉学科 平成26年度新設のため 収容定員150名
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科									
理学療法学専攻	4	40	―	160	学士 （理学療法学）	1.13	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
作業療法学専攻	4	40	―	160	学士 （作業療法学）	0.99	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学部									
子ども学科	4	80	3年次 10人	340	学士 （子ども学）	1.07	平成21年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ学科	4	40	―	160	学士 （臨床心理学）	1.15	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	※心理ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ学科 平成26年度新設のため 収容定員120名

大学の名称	西九州大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
地域生活支援学科	2	100	―	100	短期大学士 （地域生活支援学）	0.69	平成29年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	※地域生活支援学科 平成29年度新設のため 収容定員200名
食物栄養学科	2	―	―	―	短期大学士 （栄養学）	―	昭和38年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	平成29年度より募集停止
生活福祉学科	2	―	―	―	短期大学士 （介護福祉学）	―	昭和39年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	平成29年度より募集停止
幼児保育学科	2	90	―	180	短期大学士 （保育学）	1.06	昭和40年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜健康栄養学部　健康栄養学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	柳田　晃良	平成26年4月	病態生化学						
				健康栄養学演習Ⅰ※	専	教授	柳田　晃良	平成26年4月	~~健康栄養学演習Ⅰ※~~	担当者の減（29）
				ヘルスフード科学						
				卒業研究ゼミナール	専	教授	三嶋　敏雄	平成29年4月	~~卒業研究ゼミナール~~	担当者の変更（29）
				卒業研究・演習					卒業研究・演習	
					専	教授	柳田　晃良	平成27年4月	留学準備演習※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
									Introduction to Japan and Japanese Culture ※	
専	教授	進藤　直文	平成26年4月	基礎演習あすなろう	専	教授	三嶋　敏雄	平成29年4月	~~基礎演習あすなろう~~	山崎美津代准教授が平成28年5月に退職後、平成28年度は久野一恵教授が引き継ぎ、平成29年度は三嶋敏雄教授が1名で担当（29） 進藤直文教授が平成28年3月付け退職のため、柳田晃良教授と山崎美津代准教授で担当（28）
					専	教授	久野　一恵	平成28年6月	~~基礎演習あすなろう※~~	
					専	教授	柳田　晃良	平成28年4月	~~基礎演習あすなろう※~~	
					専	准教授	~~山崎　美津代~~	~~平成28年4月~~	~~基礎演習あすなろう※~~	
				あすなろう体験Ⅰ（基礎）	専	教授	三嶋　敏雄	平成29年4月	~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）~~	
					専	教授	久野　一恵	平成28年6月	~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）※~~	
					専	教授	柳田　晃良	平成28年4月	~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）※~~	
					専	准教授	~~山崎　美津代~~	~~平成28年4月~~	~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）※~~	
				食品学	専	教授	三嶋　敏雄	平成29年4月	食品学	三嶋敏雄教授が全て担当（29） 進藤直文教授が退職のため、安田みどり教授が担当。進藤教授は退職後も非常勤講師として一部クラスを担当(28)
					専	教授	安田　みどり	平成28年4月	~~食品学~~	
				食品学実験	専	教授	三嶋　敏雄	平成29年4月	食品学実験	
					専	教授	安田　みどり	平成28年4月	食品学実験※	
					~~兼任~~	~~講師~~	~~進藤　直文~~	~~平成28年4月~~	~~食品学実験※~~	
				健康栄養学演習Ⅰ※	専	准教授	江口　昭彦	平成28年5月	健康栄養学演習Ⅰ※	進藤直文教授が退職のため、江口昭彦准教授がオムニバスの担当コマを引き継ぎ。（28）
				健康栄養学演習Ⅱ※	専	教授	三嶋　敏雄 後任未定	平成29年4月	健康栄養学演習Ⅱ※	三嶋敏雄教授が担当（29） 進藤直文教授が退職のため変更(28)
				卒業研究ゼミナール	専	准教授	船元　智子	平成28年4月	卒業研究ゼミナール	進藤直文教授が退職のため、船元智子准教授が担当(28)
				卒業研究・演習					卒業研究･演習	
専	教授	馬塲　佐和子	平成26年4月	英語表現Ⅰ	兼任	講師	幸山　智子	平成26年4月	英語表現Ⅰ	兼任教員が担当（26）
				総合英語Ⅰ	兼任	講師	幸山　智子	平成27年4月	総合英語Ⅰ	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（27）
					専	講師	園部　ニコル	平成26年4月	~~総合英語Ⅰ~~	講義数増加のため、平成27年度は担当しない（27） 馬塲佐和子教授が平成26年3月31にに本学を退職をされたため、園部ニコル専任講師を補充。（26）
				英語表現Ⅱ					~~英語表現Ⅱ~~	
					兼任	講師	浅岡　高子	平成27年4月	英語表現Ⅱ	園部ニコル講師の講義数増加のため、兼任教員が担当（27）
				総合英語Ⅱ					総合英語Ⅱ	
					兼任	講師	幸山　智子	平成26年4月	~~総合英語Ⅱ~~	担当者の減（29） 兼任教員が担当（26）
				上級英語Ⅱ	兼担	准教授	渡邊　真理子	平成26年4月	上級英語Ⅱ	兼担教員が担当。（26）

専	教授	久野　一恵	平成26年4月	健康栄養学概論※						
				健康栄養学セミナーⅡ	専	教授	久野　一恵	平成29年4月	健康栄養学セミナーⅡ	授業運営上の理由により減（29）
				臨床栄養学概論	専	講師	熊川　景子	平成29年4月	臨床栄養学概論	担当教員の変更（29）
				臨床栄養学実習						
				栄養総合演習Ⅱ※	専	准教授	堀田　徳子	平成29年4月	栄養総合演習Ⅱ※	教育効果を考慮し、担当者変更（29）
				健康栄養学演習Ⅱ※						
				卒業研究ゼミナール						
				卒業研究・演習						
					専	教授	久野　一恵	平成29年4月	健康栄養学セミナーⅠ	担当者の追加（29）
専	教授	林　眞知子	平成26年4月	調理実習Ⅰ						
				調理実習Ⅱ※						
				微生物学						
				食品加工学						
				卒業研究ゼミナール						
				卒業研究・演習						
専	教授	能見　光雄	平成26年4月	基礎演習あすなろう						
				あすなろう体験Ⅰ（基礎）						
				解剖生理学						
				解剖生理学実習	専	教授	能見　光雄	平成26年4月	解剖生理学実習※	担当者の追加（29）
					兼任	講師	村田　祐造	平成28年10月	解剖生理学実習※	
				健康栄養学演習Ⅰ※						
				生理学のための薬理学						
				卒業研究ゼミナール						
				卒業研究・演習						
専	教授	古賀　浩二	平成26年4月	基礎演習あすなろう						
				あすなろう体験Ⅰ（基礎）						
				情報処理基礎						
専	教授	安田　みどり	平成26年4月	基礎演習あすなろう						
				あすなろう体験Ⅰ（基礎）						
				あすなろう体験Ⅱ（応用）						
				あすなろう体験Ⅲ（実践応用）						
				化学	専	教授	安田　みどり	平成26年4月	化学	担当者の減（29）
					専	教授	柳田　晃良	平成26年4月	化学 ※	教育効果を考慮し、２クラスに分けて開講するため、1クラスを専任教員1名、もう1クラスを専任教員及び兼任教員で担当する。（26）
					兼任	講師	田中　知恵	平成26年4月	化学 ※	
				食品機能学						
				地域の食産業 ※	専	教授	安田　みどり	平成26年4月	地域の食産業※	担当者の追加（29）
					兼任	講師	西山　慧	平成29年4月	地域の食産業※	
					兼任	講師	寺尾　和士	平成29年4月	地域の食産業※	
					兼任	講師	吉野　英明	平成29年4月	地域の食産業※	
					兼任	講師	鷹巣　翼	平成29年4月	地域の食産業※	
					兼任	講師	横尾　敏史	平成29年4月	地域の食産業※	
					兼任	講師	岡田　英明	平成29年4月	地域の食産業※	
				食品の創製ゼミナール ※						
				健康栄養学演習Ⅰ※						
				健康栄養学演習Ⅱ※						
				卒業研究ゼミナール						
				卒業研究･演習						

専	教授	横尾　美智代	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎）	専	教授	横尾　美智代	平成26年4月	~~基礎演習あすなろう~~ ~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）~~	昨年度に比べ入学者数が減少したため2クラスを削減（27）
				公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学Ⅲ						
				公衆衛生学実習	兼任	講師	執行　えりこ	平成29年4月	公衆衛生学実習※	担当者の追加（29）
					専	教授	横尾　美智代	平成26年4月	公衆衛生学実習※	
				健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						
専	教授	石松　秀	平成26年4月	臨床基礎医学 基礎臨床実習 臨床栄養学 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						
専	教授	楢本　千珠子	平成26年4月	疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ						
専	教授	高橋　忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	兼任	講師	高橋　忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	平成26年3月31日付本学を退職。退職後も非常勤講師として継続担当。（26）
専	教授	澤野　香代子	平成26年4月	健康栄養学概論※ 健康栄養学セミナーⅡ 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 臨地実習Ⅲ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 栄養総合演習Ⅰ※	専	講師	船元　智子	平成26年4月	健康栄養学概論※ 健康栄養学セミナーⅡ 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 臨地実習Ⅲ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ ~~栄養総合演習Ⅰ※~~ 栄養総合演習Ⅱ※	担当科目の追加（29） 栄養総合演習Ⅰは山崎美津代准教授、緒方智宏講師及び児島百合子助教のオムニバスで開講(28) 澤野香代子教授が平成26年3月31日付け退職したため、船元智子専任講師を補充。（26）
専	准教授	江口　昭彦	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 健康栄養学概論※ 健康栄養学セミナーⅠ※ 基礎栄養学 基礎栄養学実験 食事摂取基準概論 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						
専	准教授	副島　順子	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 調理学 調理実習Ⅱ※						
				調理実習Ⅲ	専	准教授	副島　順子	平成28年4月	調理学実習Ⅲ※	授業運営の都合上、熊川景子講師が全て担当（29）
					専	講師	熊川　景子	平成28年4月	調理学実習Ⅲ※	教育効果を考慮し、副島順子准教授及び熊川景子講師のオムニバスで開講(28)
				ライフステージ別栄養学 応用栄養学実習※ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						
					専	准教授	副島　順子	平成29年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture※	担当科目の追加（29）
専	准教授	山﨑　美津代	平成26年4月	臨地実習Ⅰ	専	准教授	~~山﨑　美津代~~	~~平成26年4月~~	~~臨地実習Ⅰ~~	平成28年5月31日付退職のため、担当者の減（29）
				福祉栄養学	兼任	講師	沖田　卓雄	平成29年4月	福祉栄養学 福祉栄養学実習	担当者変更（29）
				福祉栄養学実習	専	教授	久野　一恵	平成28年6月	福祉栄養学 福祉栄養学実習	山崎美津代准教授が平成28年5月31日付退職のため（29）
				栄養総合演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※	専	准教授	~~山崎　美津代~~	~~平成26年4月~~	~~栄養総合演習Ⅰ※~~ ~~健康栄養学演習Ⅱ~~	平成28年5月31日付退職のため（29）
				卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	専	教授	沖田　千代	平成28年10月	卒業研究ゼミナール 卒業研究・演習	山崎美津代准教授が平成28年5月31日付退職のため（29）
専	准教授	四元　博晃	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 生化学 生化学実験 健康栄養学演習Ⅰ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						

専	准教授	安武　健一郎	平成26年4月	健康栄養学概論※ 健康栄養学セミナーⅡ 栄養療法論実習 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅳ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※	専	講師	熊川　景子	平成26年4月	健康栄養学概論※ 健康栄養学セミナーⅡ 栄養療法論実習 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅳ 健康栄養学演習Ⅰ※ ~~健康栄養学演習Ⅱ※~~	授業運営の都合上、担当者の減（29） 安武健一郎准教授が平成26年3月31日付け退職したため熊川景子専任講師を補充。（26）
				臨床栄養管理学	専	教授	久野　一恵	平成29年4月	臨床栄養管理学	担当者の変更（29） 安武健一郎准教授が平成26年3月31日付け退職したため熊川景子専任講師を補充。（26）
					専	講師	熊川　景子	平成26年4月	臨床栄養管理学	
				栄養総合演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	専	講師	熊川　景子	平成26年4月	栄養総合演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	安武健一郎准教授が平成26年3月31日付け退職したため熊川景子専任講師を補充。（26）
専	准教授	石井　妙子	平成26年4月	給食計画論 給食経営管理論 給食経営管理実習 臨地実習Ⅰ 栄養総合演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	専	講師	緒方　智宏	平成26年4月	給食計画論 給食経営管理論 給食経営管理実習 臨地実習Ⅰ 栄養総合演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅰ※ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	石井妙子准教授が平成26年3月31日付け退職したため、緒方智宏専任講師を補充。（26）
専	准教授	堀田　徳子	平成26年4月	健康栄養学概論※	専	准教授	堀田　徳子	平成28年4月	健康栄養学概論※	産前産後休暇から復帰(28)
					専	講師	緒方　智宏	平成27年4月	健康栄養学概論※	堀田徳子准教授が産前産後休暇から復帰のため(28) 堀田徳子准教授が産前産後の休暇のため緒方智宏講師が担当（27）
				健康栄養学セミナーⅡ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ						
				栄養教育論実習Ⅰ	兼任	講師	沖田　千代	平成28年4月	~~栄養教育論実習Ⅰ~~	平成28年10月1日付特任教授に就任し、梅木陽子講師の後任として担当（29） 全クラス兼任講師が担当(28)
				栄養教育論実習Ⅱ	専	准教授	堀田　徳子	~~平成28年4月~~	~~栄養教育論実習Ⅱ~~	梅木陽子講師が全クラス担当予定だったが、平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定(28)
				スポーツ栄養学						
				栄養総合演習Ⅰ※	専	准教授	堀田　徳子	~~平成28年4月~~	~~栄養総合演習Ⅰ※~~	山崎美津代准教授、緒方智宏講師、児島助教のオムニバスで開講(28)
				臨地実習Ⅲ 健康栄養学演習Ⅱ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習						
専	講師	日野　まど香	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） あすなろう体験Ⅱ（応用） あすなろう体験Ⅲ（実践応用）	専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	基礎演習あすなろう ~~あすなろう体験Ⅰ（基礎）~~ ~~あすなろう体験Ⅱ（応用）~~ ~~あすなろう体験Ⅲ（実践応用）~~	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）
				食品衛生学	兼任	講師	熊谷　聡	平成29年4月	食品衛生学 食品衛生学実験	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため変更（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）
				食品衛生学実験	専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	食品衛生学 食品衛生学実験	
				地域の食産業 ※	専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	~~地域の食産業※~~	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため変更（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）
				健康栄養学演習Ⅰ※	兼任	講師	熊谷　聡	平成29年4月	健康栄養学演習Ⅰ※	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）
					専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	~~健康栄養学演習Ⅰ※~~	
				食品の創製ゼミナール ※	専	助教	児島　百合子	平成29年4月	食品の創製ゼミナール※	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため変更（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）
					専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	~~食品の創製ゼミナール※~~	
				卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	専	准教授講師	斎木　まど香	平成26年4月	卒業研究ゼミナール 卒業研究･演習	平成29年4月から産前産後及び育児休暇のため変更（29） 職位変更(28) 婚姻による改姓（27）

専	講師	梅木　陽子	平成26年4月	健康栄養学概論※	専	講師	梅木　陽子	~~平成28年4月~~	~~健康栄養学概論※~~	梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、他専任教員が担当(28)
				健康栄養学セミナーⅠ※				~~平成28年4月~~	~~健康栄養学セミナーⅠ※~~	
				食事設計実習	兼任	講師	梅木　陽子	平成29年4月	食事設計実習※	担当者の追加（29）
					専	講師	緒方　智宏	平成27年4月	食事設計実習※	専任教員の担当変更（27）
				栄養教育概論	専	准教授	堀田　徳子 後任未定	平成28年10月	栄養教育概論	堀田徳子准教授が担当（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定。(28)
				栄養教育論実習Ⅰ	専	教授	沖田　千代	平成28年10月	栄養教育論実習Ⅰ	平成28年10月1日付特任教授に就任（29）
					兼任	講師	沖田　千代	平成28年4月	~~栄養教育論実習Ⅰ~~	梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため(28)
				栄養教育論実習Ⅱ	専	教授	沖田　千代 後任未定	平成28年10月	栄養教育論実習Ⅱ	平成28年10月1日付就任した沖田千代特任教授が担当（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定。(28)
				栄養総合演習Ⅰ※	専	助教	児島　百合子	平成28年4月	栄養総合演習Ⅰ※	梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、担当教員を変更(28)
				臨地実習Ⅱ			後任未定		~~臨地実習Ⅱ~~	三隅幸子講師と熊川景子講師の2名で担当（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定。(28)
				臨地実習Ⅳ					~~臨地実習Ⅳ~~	
				健康栄養学演習Ⅰ※	専	准教授	堀田　徳子	平成28年4月	~~健康栄養学演習Ⅰ※~~	授業運営の都合上、担当者減（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、担当教員を変更(28)
				健康栄養学演習Ⅱ※			後任未定		~~健康栄養学演習Ⅱ※~~	授業運営の都合上、担当者減（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定。(28)
				卒業研究ゼミナール	専	助教	児島　百合子 後任未定	平成28年10月	卒業研究ゼミナール	児島百合子助教が担当（29） 梅木陽子講師が平成28年3月31日付け退職のため、補充教員を募集中。平成28年10月までに就任予定。(28)
				卒業研究･演習					卒業研究･演習	
専	講師	三隅　幸子	平成26年4月	健康栄養学概論※						
				健康栄養学セミナーⅠ※						
				調理教育学実習						
				栄養マネジメント概論						
				応用栄養学実習※						
				栄養療法論						
				栄養総合演習Ⅰ※	専	講師	三隅　幸子	~~平成28年4月~~	~~栄養総合演習Ⅰ※~~	山﨑美津代准教授、緒方智宏講師及び児島百合子助教のオムニバスで開講(28)
				臨地実習Ⅱ						
				臨地実習Ⅳ						
				健康栄養学演習Ⅰ※						
				健康栄養学演習Ⅱ※						
				卒業研究ゼミナール						
				卒業研究･演習						
					専	講師	三隅　幸子	平成29年4月	栄養総合演習Ⅱ※	担当者の追加（29）
専	助教	高元　宗一郎	平成26年4月	基礎演習あすなろう	専	助教	児島　百合子	平成27年4月	基礎演習あすなろう	高元宗一郎助教がスポーツ健康福祉学科へ異動となったため（27）
				あすなろう体験Ⅰ（基礎）					あすなろう体験Ⅰ（基礎）	
				あすなろう体験Ⅱ（応用）	兼担	助教	高元　宗一郎	平成26年4月	~~あすなろう体験Ⅱ（応用）~~	
				あすなろう体験Ⅲ（実践応用）					~~あすなろう体験Ⅲ（実践応用）~~	
専	助教	児島　百合子	平成26年4月	あすなろう体験Ⅱ（応用）						
				あすなろう体験Ⅲ（実践応用）						
					専	助教	児島　百合子	平成28年4月	臨地実習Ⅰ	教育効果を考慮し、担当教員を1名追加(28)
					専	講師	園部　ニコル	平成26年4月	~~基礎演習あすなろう~~	昨年度に比べ入学者数が減少したため2クラスを削減（27）
									~~あすなろう体験Ⅰ~~	馬場佐和子教授が退職したため、教員補充で就任（26）
兼担	教授	平川　忠敏	平成26年4月	心理学入門						

兼担	教授	井本　浩之	平成26年4月	現代社会と倫理 人間論と現代思想						
兼担	准教授	田平　隆行	平成26年4月	脳と認知科学　※	兼任	講師	森内　剛史	平成28年4月	脳と認知科学 ※	平成28年3月に本学を退職のため、兼担教員から兼任教員へ変更(28)
兼担	教授	ハドソン マーク	平成26年4月	海外研修	専	講師	園部　ニコル	平成28年4月	海外研修	平成28年3月に本学を退職のため、兼担教員から専任教員へ変更(28)
				人類学	兼任	講師	永吉　守	平成28年4月	人類学	平成28年3月に本学を退職のため、兼担教員から兼任教員へ変更(28)
					兼担	教授	~~ハドソン マーク~~	~~平成27年4月~~	~~留学準備演習※~~ ~~Introduction to Japan and Japanese Culture ※~~	平成28年3月に本学を退職のため(28) 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
					兼任	講師	浅岡　高子	平成28年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture ※	ハドソン・マーク教授が平成28年3月に退職のため、兼任講師へ変更(28)
兼担	教授	酒井　出	平成26年4月	社会学入門						
					兼担	教授	酒井　出	平成27年4月	留学準備演習※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
兼担	教授	香川　せつ子	平成26年4月	ジェンダー論						
兼担	講師	岡部　由紀夫	平成26年4月	少子高齢化社会と人間	兼担	教授	田中　豊治	平成27年4月	少子高齢化社会と人間	兼担教員の変更（27）
兼担	准教授	上赤　博文	平成26年4月	地球環境科学	兼担	講師	小倉　啓生	平成27年4月	地球環境科学	平成27年3月上赤准教授退職のため平成27年度より担当者変更（27）
兼担	准教授	渡邉　真理子	平成26年4月	英語表現Ⅰ 総合英語Ⅰ 上級英語Ⅰ	兼任	講師	浅岡　高子	平成28年4月	英語表現Ⅰ 総合英語Ⅰ	兼担教員から兼任教員に変更(28)
					兼担	准教授	渡邉　真理子	平成27年4月	留学準備演習※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
兼担	准教授	近藤　芳昭	平成26年4月	健康・スポーツ科学	兼担	講師	甲木　秀典	平成28年4月	健康・スポーツ科学	兼担教員変更(28)
					兼担	教授	管原　正志	平成26年4月	~~健康・スポーツ科学~~	兼担教員変更（28） 兼担教員変更（26）
				フィットネス・スポーツ	兼担	講師	甲木　秀典	平成28年4月	フィットネス・スポーツ	兼担教員変更（28）
				ウェルネス・スポーツ	兼任	講師	音成　道彦	平成29年4月	ウェルネス・スポーツ	担当者の変更（29）
					兼担	講師	甲木　秀典	平成28年4月	~~ウェルネス・スポーツ~~	
				運動指導論						
兼任	講師	濱田　隆	平成26年4月	文学と言語						
兼任	講師	末嵜　雅美	平成26年4月	生涯学習論	兼担	教授	香川　せつ子	平成29年4月	生涯学習論	担当者の変更（29）
兼任	講師	川副　義政	平成26年4月	人間の歴史						
兼任	講師	西本　加奈	平成26年4月	脳と認知科学 ※	兼任	講師	長谷川　隆史	平成26年4月	脳と認知科学 ※	西本非常勤講師辞退のため兼任教員変更（26）
兼任	講師	山田　麻和	平成26年4月	脳と認知科学 ※	兼担	教授	小浦　誠吾	平成27年４月	脳と認知科学 ※	山田麻和非常勤講師辞退のため兼担教員へ変更（27）
兼任	講師	荒木　雪葉	平成26年4月	異文化理解						
				中国語（初級）	兼任	講師	阿依努尔・巴拉提	平成29年4月	中国語（初級） 中国語（中級）	兼任教員辞任のため、担当者変更（29）
				中国語（中級）	~~兼任~~	~~講師~~	~~矢羽田　朋子~~	~~平成28年4月~~	~~中国語（初級）~~ ~~中国語（中級）~~	兼任教員変更（28）
兼任	講師	平　誠一	平成26年4月	法学	兼任	講師	児玉　弘	平成29年4月	法学	担当者の変更（29）
				日本国憲法	兼任	講師	井上　亜紀	平成29年4月	日本国憲法	担当者の変更（29）
兼任	講師	権藤　幸憲	平成26年4月	くらしと経済						
兼任	講師	田端　正明	平成26年4月	化学入門	専任	教授	安田　みどり	平成27年４月	化学入門	田端非常勤講師辞退のため専任教員へ変更（27）
兼任	講師	上山　和俊	平成26年4月	統計学の基礎						
兼任	講師	福井　市男	平成26年4月	物理学入門						
兼任	講師	雨森　未来	平成26年4月	総合英語Ⅰ 英語表現Ⅰ						
兼任	講師	大城　綾子	平成26年4月	英語表現Ⅰ	兼任	講師	大城　綾子	~~平成26年4月~~	~~英語表現Ⅰ~~	3クラス展開のため平成26年度は担当なし（26）
				英語表現Ⅱ 総合英語Ⅱ						
兼任	講師	小池　知英	平成26年4月	総合英語Ⅱ 英語表現Ⅱ						

兼任	講師	園部　ニコル	平成26年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	兼任	講師	Eric Raschke	平成29年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	兼任教員辞任のため担当者変更（29）
					~~兼任~~	~~講師~~	~~ピーター・トーマス・ベントリー・ジュニア~~	~~平成28年4月~~	~~英語会話Ⅰ~~ ~~英語会話Ⅱ~~	園部ニコル講師の担当授業増のため、兼任教員が担当（28）
					専任	講師	園部　ニコル	平成26年4月	~~英語会話Ⅰ~~ ~~英語会話Ⅱ~~	担当授業増のため、兼任教員が担当(28) 平成26年4月1日専任講師に就任（26）
					専任	講師	園部　ニコル	平成27年4月	留学準備演習※ Introduction to Japan and Japanese Culture ※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
					専任	講師	園部　ニコル	平成28年4月	グローバル・コミュニケーション（英語）※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（28）
兼任	講師	ガレス・ニューボルド	平成26年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ						
兼任	講師	日高　雅彦	平成26年4月	ドイツ語（初級） ドイツ語（中級）						
兼任	講師	前川　完	平成26年4月	フランス語（初級） フランス語（中級）						
兼任	講師	文　芝瑛	平成26年4月	韓国語（初級） 韓国語（中級）						
兼任	講師	池田　知子	平成26年4月	フィットネス・スポーツ	兼任	講師	大西　真果	平成27年4月	フィットネス・スポーツ	池田知子非常勤講師が別学部の授業科目を担当されるため変更（27）
兼任	講師	山津　美津代	平成26年4月	ウェルネス・スポーツ						
兼任	講師	福山　隆志	平成26年4月	栄養教諭論 学校食育指導論						
					兼担	教授	田中　豊治	平成27年4月	留学準備演習※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
					~~兼任~~	~~講師~~	~~福元　健志~~	~~平成27年4月~~	~~Introduction to Japan and Japanese Culture ※~~	平成28年9月に辞任のため(28) 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
					~~兼任~~	~~講師~~	~~青山　真美~~	~~平成27年4月~~	~~Introduction to Japan and Japanese Culture ※~~	科目運用の都合により担当者減(28) 国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（27）
					兼担	教授	酒井　出	平成28年10月	グローバル・コミュニティ論（アジア）※	担当者の追加（29）
					兼担	教授	田中　豊治	平成28年4月	グローバル・コミュニティ論（アジア）※	国際化社会に対応した教育科目の拡充のため科目新設（28）
					兼任	講師	小野　博	平成28年5月	グローバル・コミュニケーション（英語）※	担当教員の追加（29）
					兼任	講師	中村　直子	平成29年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture ※	担当教員の追加（29）
					兼任	講師	太田　真紀子	平成29年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture ※	担当教員の追加（29）

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
13 名	7 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
13	7	3	2	25	11	5	5	1	22	11	5	5	1	22
(10)	(5)	(7)	(2)	(24)						[△2]	[△2]	[2]	[△1]	[△3]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授：68歳 准教授：65歳 その他の教育職員：60歳 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	高橋　忠夫	選択	生命のしくみ	②	平成26年3月付けで退職することになったため就任辞退(26)
			選択	生物と環境	②	
2	教授	馬塲　佐和子	必修	英語表現Ⅰ	②	平成26年3月付けで退職することになったため就任辞退(26)
			必修	総合英語Ⅰ	②	
			必修	英語表現Ⅱ	②	
			必修	総合英語Ⅱ	②	
			選択	上級英語Ⅱ	②	
3	教授	澤野　香代子	必修	健康栄養学概論※	①	平成26年3月付けで退職することになったため就任辞退(26)
			必修	健康栄養学セミナーⅡ	①	
			必修	公衆栄養学Ⅰ	①	
			選択	公衆栄養学Ⅱ	①	
			選択	公衆栄養学実習	①	
			選択	臨地実習Ⅲ	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	①	
			選択	栄養総合演習Ⅰ※	①	
4	准教授	安武　健一郎	必修	健康栄養学概論※	①	平成26年3月付けで退職することになったため就任辞退(26)
			必修	健康栄養学セミナーⅡ	①	
			選択	栄養療法論実習	①	
			選択	臨地実習Ⅱ	①	
			選択	臨地実習Ⅳ	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	①	
			選択	臨床栄養管理学	①	
			選択	栄養総合演習Ⅱ※	①	
			必修	卒業研究ゼミナール	①	
			必修	卒業研究・演習	①	
5	准教授	石井　妙子	必修	給食計画論	①	平成26年3月付けで退職することになったため就任辞退(26)
			選択	給食経営管理論	①	
			選択	給食経営管理実習	①	
			選択	臨地実習Ⅰ	①	
			選択	栄養総合演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	①	
			必修	卒業研究ゼミナール	①	
			必修	卒業研究・演習	①	

合計（Ａ）				後任補充状況の集計（Ｂ）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
5　人	必修	14	科目	必修	10	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
	選択	22	科目	選択	19	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	36	科目	計	29	科目	計	7	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	高元　宗一郎	必修	基礎演習あすなろう	①	スポーツ健康福祉学科へ異動となったため辞任 (27)
			必修	あすなろう体験Ⅰ（基礎）	①	
			選択	あすなろう体験Ⅱ（応用）	③	
			選択	あすなろう体験Ⅲ（実践応用）	③	
2	教授	進藤　直文	必修	基礎演習あすなろう	①	平成28年3月付けで退職することになったため辞任 (28)
			必修	あすなろう体験Ⅰ（基礎）	①	
			必修	食品学	①	
			選択	食品学実験	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	③	
			必修	卒業研究ゼミナール	①	
			必修	卒業研究・演習	①	
3	講師	梅木　陽子	必修	健康栄養学概論※	①	平成28年3月付けで退職することになったため辞任 (28)
			必修	健康栄養学セミナーⅠ※	①	
			選択	食事設計実習	①	
			必修	栄養教育概論	③	
			選択	栄養教育論実習Ⅰ	②	
			選択	栄養教育論実習Ⅱ	③	
			選択	栄養総合演習Ⅰ※	①	
			選択	臨地実習Ⅱ	③	
			選択	臨地実習Ⅳ	③	
			選択	健康栄養学演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	③	
			必修	卒業研究ゼミナール	③	
			必修	卒業研究・演習	③	
4	准教授	山﨑　美津代	必修	基礎演習あすなろう	①	平成28年5月付けで退職することになったため辞任 （29）
			必修	あすなろう体験Ⅰ（基礎）	①	
			選択	臨地実習Ⅰ	①	
			選択	福祉栄養学	②	
			選択	福祉栄養学実習	②	
			選択	栄養総合演習Ⅰ※	①	
			選択	健康栄養学演習Ⅱ※	①	
			必修	卒業研究ゼミナール	①	
			必修	卒業研究・演習	①	

合計（C）				後任補充状況の集計（D）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
4　人	必修	16	科目	必修	13	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
	選択	18	科目	選択	8	科目	選択	3	科目	選択	7	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	34	科目	計	21	科目	計	3	科目	計	10	科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
9　人	必修	30	科目	必修	23	科目	必修	4	科目	必修	3	科目
	選択	40	科目	選択	27	科目	選択	6	科目	選択	7	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	70	科目	計	50	科目	計	10	科目	計	10	科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

高橋忠夫教授については辞任後も非常勤講師として科目担当に就任。
馬場佐和子教授、澤野香代子教授、安武健一郎准教授、石井妙子准教授部ついては、園部ニコル講師、船元智子講師、熊川景子講師、緒方智宏講師を補充したため、辞任した教員の教育分野は補完を行っている。
学生への周知について、平成２６年度開講科目については、新規教員名を記載している。（26）

高元宗一郎助教の異動後の科目担当については、児島百合子助教が引き継ぐことで補完を行っている。
学生への周知について、平成２７年度開講科目については、新規教員名を記載している。（27）

進藤直文教授については辞任後も非常勤講師として一部科目を担当し、その他の科目については既存の専任教員に引き継ぐことで補完を行っている。
梅木陽子講師の担当科目については補充教員の採用が決まっていたが、急遽辞退されたため、前期科目は既存の専任教員及び非常勤講師が担当することで補完している。補充教員については、後期授業が始まる１０月までに採用すべく募集中である。
学生への周知について、平成２８年度開講科目については、新規教員名を記載している。（28）

山﨑美津代准教授の担当科目について、平成２８年度は既存の専任教員に引き継ぎ、平成２９年度は一部科目を非常勤講師が担当することで補完している。学生への周知について、平成２８年度は履修者に対し説明を行い、平成２９年度開講科目については、新規教員名を記載している。
梅木陽子講師の平成２８年度後期担当科目は、既存の専任教員と平成２８年１０月に就任した沖田千代特任教授が担当し、補完を行った。
学生への周知は、平成２８年度後期開講科目に新規教員名を記載している。（29）

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設　置　時 （平成26年4月）	該当なし			
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成26年5月）	既設学部等(西九州大学短期大学部食物栄養学科)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	本学科の特徴をより広く進学者や地域社会にアピールする為に下記の独自募集活動を通して改善に努めている。 ①学科活動の広報及び栄養士の魅力を伝える進路ガイダンス資料を直接高校に持参し、家政系担当教諭と高校生への対面説明を行う事で、具体的な志願勧奨を実施し手応えを得ている。 ②進学対象者に本学科の教育研究活動を直に見てもらう目的で「キャンパスプレビュー(公開授業参加型)」を複数回実施し参加者から高い評価を得ている。 ③地域の複数自治体との包括的連携協定締結の下に、各種の食育支援・普及活動(食農臨地体験学習や地産地消型学生レストランの開店、他)を実施し、産学官が協調して効果的な広報活動を進め良好な反応を得ている。 （H27）	①高校及び生徒達が真に必要とする情報を精査し、担当教諭と志願者に対して直接アピールができる募集広報と学校訪問活動を進め、学生確保の手法改善を図る計画である。 ②現在の高校対象「キャンパスプレビュー」を一般地域社会層にも拡張し、本学科教員と在学生と高校生及び地域の老若男女全ての人々が協働参画できる重層かつ有機的な企画のキャンパスイベントの仕組みを創り出し、本学科の効果的認知度アップを図る事により入学者増に繋げる計画である。 ③平成29年度新設を目標に、現在本短大部学科改組設置申請の学内準備を既に組織的に進めている。当学科主幹資格である栄養士と介護福祉士両養成部門を単学科として統合し、地域への生活支援を科学的視点から複合的にサポートできる地域課題解決型の人材養成を行う新規教育課程として再編する。更にこれに加えて、ホスピタリティ・観光・地域文化をキーワードに、海外相互留学生制度も取り入れたグローカルな新学科の誕生を目指す事によって新たな学生確保及び職域の開拓を行う計画である。 （H27）
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成27年5月）	子ども学部心理カウンセリング学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	学科内に人事計画ワーキンググループ（学科長、教授２名、准教授１名の計４名のメンバーから構成）を立ち上げ、今後の教員組織編制について具体的な検討を始めた。 （H28）	平成２８年度中に設置申請時に提出した教員採用計画表に沿って、平成３０年度からの教員組織編制案及び人事募集計画案を策定し、学内的なコンセンサスを得たのち、平成２９年度早期に公募を開始できるようにする。

設置計画履行状況調査時（平成27年5月）	既設学部等(西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	【食物栄養学科】 ①平成29年度4月より、新設学科として「地域生活支援学科」を本短大に設置(収容定員:200名)する為の企画立案を担当・推進する為の「学科改組準備委員会」を組織し、文部科学省所管部署との複数回に亘る事務相談を重ね、事前相談の結果、届出で設置が可となっている。 ②当該新学科では、本「食物栄養学科(栄養士養成)」と現「生活福祉学科(介護福祉士養成)」を改組転換の上、各々コースとして組み入れて統合する為の両学科共学の準備と新生学科の具体的運営に必要な事前準備を開始している。 ③更に当地域(ローカル性)の有する各種資源(観光・人・地産食材・歴史・文化・伝統工芸etc.)と国際化(グローバル性)に対応する「多文化生活支援」の1コースを新規に加える為の新教育課程と教員計画を進めている。 ④地域の複数自治体との包括的連携協定を活用した食育の支援と普及活動(食農臨地体験学修や地産地消型学生自主運営レストランの開店、他)を実施し、産学官が協調して効果的な広報活動を進め、県下の高校と同生徒への本学科魅力のアピールを推進し、非常に良好な反応を得ている。 （H28）	【食物栄養学科】 ①H28年度4月下旬の当該新設学科届出の事務手続きを進める。 ②当該届出処理完了の後、同年度5月頃より早速県内外関連高等学校への新学科の教育目的と人材養成への魅力及び就職内容などの説明・広報を含めた学生募集活動を強力に開始する計画としている。 ③当該新学科の教育と人材養成指標である「グローカル時代にマッチした、マルチに学び、マルチに活躍する」事を可能とする科学的生活支援手法を身に付ける事ができるユニークな新教育内容を高校及び高校生に効果的にアピールし、県内及び近郊の高校からの新たな志望・進学に結び付ける事により学生確保に鋭意努め、本短大の教育機関としての教育力と施設・設備の全資源の有効活用を目指す改善計画を推し進める事としている。 ④特に多文化生活支援コースでの新たな教育環境創出の基盤となる、海外からの優秀な「留学生」の受入れ準備を強力に進める計画も、国内生募集と併行して実施して行く事としている。 ⑤既存の食と介護の2学科及び新分野への改組に伴う、1学科運営の中での、新教育課程(及び3つの新ポリシー)と教育職員の効果的な連携活動を達成する為の教務及び人事の構築を促進する計画を進める。 ⑥地域活性化への寄与活動と食の6次産業化に対応した学生のアクティブラーニングを結び付けた学外フィールドでの学修を更に推進し、学科の魅力アップに努める。
設置計画履行状況調査時（平成27年5月）	既設学部等(西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。		【生活福祉学科】 介護福祉士養成校の定員割れは本学科も厳しい状況にあり、学科としては高校や地域社会に向けて積極的に介護の必要性や本学科の特長をPRしている。 ①地域貢献活動の一環としてまた、即戦力となる介護福祉士を育てるため、障がい者を招いて一緒に楽しむイベントの開催や、地域の高齢者にレクリエーションを提供する「生きがいづくり教室」、「高齢者サロン」へ参加し好評を得ている。 ②本学は、高校生に実際の授業を体験してもらう「キャンパスプレビュー(公開授業参加型)」を年２回実施しており、本学科としては、新しい福祉用具等を活用した授業やレクリエーションの授業に参加してもらい、介護の魅力を伝えている。 ③本学科では、卒業生を対象に「卒後講座」を年に８回程度開催し、介護福祉士のスキルアップやキャリアアップに努めている。時には在校生も参加し、介護の魅力等を卒業生から話してもらい、介護に関する意識の高揚を図っている。 （H28）	【生活福祉学科】 ①本学科の教員は高校の先生方との繋がりも多くあり、進路指導室への訪問に限らず、高校の先生を通して今後の介護の必要性と将来性を伝えていく。 ②これまで実施してきた、地域貢献活動や卒後講座を更に発展させ、本学が持つ人材や介護実習室・教室などの教育資源を広く地域に還元し、地域ケアの社会資源となるよう根づかせていく。 ③本学科の卒業生を通して、介護の魅力や介護の将来性等を高校生や在校生に話してもらう機会を多く作る。 ④平成29年度より栄養士と介護福祉士の両養成部門を、食生活支援コース・福祉生活支援コース、更に国際感覚や地域の特性を有する人材養成を目標に多文化生活支援コースを加えて「地域生活支援学科　(3コース)」として改組し、広く地域の人々に対して介護・健康・食・生きがい等、生活全般に亘り支援できる人材の養成に努める。そのためには、3コースのカリキュラムを複合的、横断的に学生が履修できるよう、コースの連携や集中講座等を導入し、教育体制を整える。また、海外からの優秀な留学生募集にも力を入れ、その為の環境整備に努める。

設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成29年2月）	・同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科）の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	【健康福祉学部　社会福祉学科】 （１）　学科改組、学科再編について検討 学科改組、学科再編のため①現社会福祉学科改革ワーキンググループ（以下、WG）、②新学科構想WGの２体制の学科FDと２WG合同FDを毎月２回実施し、その結果を改組案としてまとめ学長に提出した。 ①　現社会福祉学科改革WG 本学科の魅力、特性を示すために、他福祉系大学の情報を分析し、新規性の資格を含め検討した。その結果、スクールソシャルワーカーの育成、精神保健福祉分野の強化が重要であることが明らかとなった。 ②　新学科構想WG これまでの国際地域コースの教員を中心に情報収集や意見交換を通して「国際連携学科構想（案）」への新しい取り組みが必要であるとの認識から、国際連携新学科（案）創設のためのFDを継続実施した。(H29) （２）　社会福祉士資格試験の合格率の上昇 福祉系大学をめざす高校生は、社会福祉士国家試験の合格率が高い大学を志望する傾向にあることから、同合格率を上げるため、学科内において本格的受験対策の開始時期を例年よりも早めた。さらに10月より毎月1回模擬試験を実施し、成績の下位者には、再試験を複数回実施した。その結果、社会福祉士では、前年度の合格率36.1%から40.0%に向上し過去最高の現役合格率となった。(29) （３）　高校訪問の回数の増加 これまでの6月の一斉訪問、9月の指定校推薦前の訪問に加えて2月の一般Ｉ期後にも高校訪問を実施した。(H29) （４）　ぷちオープンキャンパスの実施 これまでの年３回行ってきたオープンキャンパスに加えて、高校生、保護者等の都合が良い日程に本学科を訪問してもらい、通常講義に出席したり、放課後の大学を知ってもらう等、学科の実情を理解してもらう機会を増やした。高校生の部活動等へも配慮することで、21時まで対応した。(29) （５）　高大連携の強化 佐賀県高等学校教育研究福祉部会会長の協力を得て、福祉科を設置する高等学校との協議を重ねより密接な高大連携の在り方について複数回検討した。(29)	【健康福祉学部　社会福祉学科】 （１）　学科改組、学科再編について検討 学科改組、学科再編のため①現社会福祉学科改革WG、②新学科構想WGの２体制の継続的審議から、学長に改革案を提出した。本改革案を実現するために、従来より本学科が主体的に取り組んできた地域貢献活動の実績を活かし、大学ブランディング事業として採択された介護予防、認知症予防に関する研究を継続実施し、魅力ある学科改組および学科再編に努める。(H29) （２）　社会福祉士資格試験の合格率の上昇 社会福祉士の合格率を50%まで上昇させ、高校生にとってより魅力的な学科にする。(H29) （３）　高大・他機関との連携強化 　佐賀県高等学校教育研究福祉部会会長校、佐賀県社会福祉協議会および佐賀県老人福祉施設協議会や佐賀県知的障害者福祉協会等、佐賀県内外の学校機関や福祉機関との連携を強化し、共催で福祉イベント等を行うことで福祉系大学進学の意識を高める。また、保護者と生徒が共に参加する企画を実施することで福祉の理解を更に深める。(H29) （４）　広報活動の充実 これまで本学科が実施してきた特色ある活動、地域貢献活動、大学ブランディング事業、ぷちオープンキャンの実施、高大連携および福祉フェスタの強化、学科報をホームページ、フェースブック等に掲載することで本学科の広報活動の充実を図る。(29)

	・同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科）の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	（６）　福祉フェスタの強化 佐賀県社会福祉協議会、佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究福祉部会の協力を得て、これまで実施してきた福祉フェスタを更に強化し、120名を超える佐賀県内高校生の参加を得た。(29) （７）　学科報の発行回数の増加 従来年１回発行の学科報を年２回に増加し、高等学校以外にも県社会福祉協議会等の協力を得て、広く広報活動を展開した。(29) **【西九州大学短期大学部】** 平成29年4月1日より、当該「食物栄養学科(栄養士養成)」と「生活福祉学科(介護福祉士養成)」を改組転換し、新設学科「地域生活支援学科」を本短大に設置(H28.4.26 届出、収容定員:200名)した。栄養士、介護福祉士に、更に多文化に対応した教育課程を加え、地域の活性化と生活者支援に貢献できるマルチな人材育成を行うために、同3分野(コース制)横断的な履修が可能な新カリキュラムに一元化して新たな学生確保に努めている。 　又、既存の食と介護の2学科及び新分野への改組に伴う、1学科運営の中での、新教育課程(及び3つの新ポリシー)と教育職員の効果的な連携活動を達成する為の教務及び人事を更に促進する計画を進めている。(29)	**【西九州大学短期大学部】** 　当該食物栄養学科及び生活福祉学科については、現在の在籍学生が卒業した時点で廃止とする計画である。(H30.4.1 予定)(29)

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜健康栄養学部　健康栄養学科＞

（１） 担当教員表

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を置き、ＦＤ活動を実施している。
※西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・平成28年度は6、7、8、9、11、2月及び3月に開催。
・副学長が委員長、各学部教員17人、事務局長1人の委員構成。

ｃ　委員会の審議事項等

・中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの28年度活動状況の確認と29年度活動計画について
・ＦＤ研修会の開催について
・教育研究活動の活性化について

②　実施状況

ａ　実施内容

１）「規制（規律）と実態の狭間　ー学生指導の観点からの問題整理ー」
各学科・事務局ワークショップ
（西九州大学ＦＤ・ＳＤ合同研修会）

２）「COC+について」
「大学シーズを活用した大学ブランディング化）」
（西九州大学・西九州大学短期大学部合同ＦＤ合同研修会）

３）「学長講話」
理事長・西九州大学短期大学部学長
西九州大学学長
「大学教育の質保証・質的転換に向けた実践～「学修成果の自己評価」の基準設定を考える～」
各学科別ワークショップ
（西九州大学・短期大学部合同ＦＤ・ＳＤ合同研修会）

４）「大学人のマナーー大学コンプライアンス・リスクマネジメント」
「COC・COC+　自己点検評価について」
「学修成果の可視化システムの開発について（教育課程を通した学修成果の査定について）」
（西九州大学・短期大学部合同ＦＤ研修会）

ｂ　実施方法

１）講演会形式

２）事業概要及びプロジェクトについての説明及び講演会形式

３）講演会形式

４）講演会形式

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

１）平成28年6月30日開催。大学専任教員73名、職員32名参加、計105名。

２）平成28年7月28日開催。大学専任教員69名、短大専任教員14名、職員11名参加、計94名。

３）平成28年9月14日開催。大学専任教員47名、短大専任教員23名、職員38名参加、計108名。

４）平成29年3月9日開催。大学専任教員61名、短大専任教員20名、職員7名参加、計88名。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

１）就業規則、学則等と学生指導の実態について全学的な振り返りを行うことを通じて、教職員のコンプライアンス向上に役立てている。

２）地域志向教育を通じたシビック・プライドの醸成、ひいては地元就職の向上策について全学的な意識の共有をはかることができた。また、ＣＯＣ活動からの延長として研究側面で大学ブランドを立ち上げるための意識共有もできた。

３）学修成果の可視化を通した教育の質保証・質転換についての全学的理解を促進させるとともに、一定の実践成果を共有できた。

４）大学コンプライアンス・リスクマネジメントについての理解を全学的に深めることができた。また、地域志向教育の成果についての点検評価結果を共有できた。教育課程を通した学修成果の査定法についての理解を全学で共有できた。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前学期と後学期のそれぞれに、中間（記述式、前期6月・後期11月）と各学期末にWebによる調査（選択式及び記述式、前期7月、後期1月）を1回実施。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

各教員の集計結果について当該教員へポータルサイトにて周知するとともに、学生も閲覧できるよう「学生による授業評価アンケートに関する報告書」を図書館で公開。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

１．健康栄養学部健康栄養学科は、平成26年4月1日設置時に122名を,平成27年4月1日に105人、平成28年4月1日には114名、平成29年4月1日には110名の入学生を受け入れ、設置計画通りのカリキュラムに沿った授業を開講している。

２．教員組織については、平成28年5月31日には准教授1名が退職したが、平成28年10月に教授1名、平成29年4月1日に教授1名を採用し、教員組織に一部変更が生じたが、ほぼ計画通り授業を展開している。

②　自己点検・評価報告書

平成26年～29年度対象の第3次中期目標・中期計画を作成し、また毎年度にアクションプログラムを作成している。

ａ　公表（予定）時期

・平成２９年６月公表（予定）

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成２９年８月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・平成２９年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく，学内で検討中

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成29年　9月頃　）